

た。愛工大名電も強豪校で学校対抗でもよく当たりますね。田中選手とは何度か試合したことがあるのですか。

戸上 小学校の時からずっと対戦してきて、最近ようやく勝ち越せるようになってきました。

市長 相手は1年先輩の3年生ですね。今回は勝ち切ったという感じですか。

戸上 戦術を巧みにこなしてくるので、やりづらい相手ではありますが勝ち切ったことは自信になりました。

市長 高校生ナンバーワンとなられたわけですが、うれしかったですよね。

戸上 ずっと夢見てきたことなので、やっと全国優勝できたという感慨があります。

市長 全国のトップを勝ち取った戸上選手ですが、津市にあるこの松生卓球道場で練習を重ねてこられました。卓球は何歳の時から始められたのですか。

戸上 3歳ごろからラケットを持ち始めました。

市長 どういうきっかけだったのですか。

戸上 家族が卓球一家だったこともあり、2人の兄がともにクラブチームに通っていて一緒に遊びに行っていました。

市長 自然な形で卓球を始めたわけですね。小さな頃は楽しかったですか。

戸上 とても楽しかったです。

市長 どういうことが楽しかったのですか。

戸上 ラリーを続けることが一つの楽しみで、そこから試合に出て勝てるようになったことでもっと楽しくなりました。

市長 一番小さな頃の試合の記憶は何歳ぐらいの時ですか。

戸上 小学校1年生の時です。

市長 勝った時の思い出ですか。

戸上 勝った思い出と負けた思い出と両方ありますね。

市長 負けた思い出もあるんですか。よほど悔しかったのでしょうか。修成小学校6年生の時の戸上選手と、私も松生卓球道場で対戦をしましたよね。

戸上 よく覚えています。

市長 3本しか取れなかったという話をしたら、戸上選手から3本も取れたんだという人もいました。その時は11対3というスコアで敗れました。その時のラケットがこれです。こちらの卓球道場は、小学生もたくさん練習していてシニアの方も練習していますね。どういう道場で



すか。

戸上 いろいろな世代の人が通っていて、強い選手も来られたりします。小学生の頃は高校生やシニアの方に相手をしてもらって、それが今に生かされています。

市長 ご家族が卓球一家だとおっしゃいましたが、実はお父さんも1982年のインターハイの卓球ダブルスに柳川高校(福岡)から出場されました。

お父さんの戸上義春さんは見事優勝されているということです。お父さんとかなりラリーを

したのでしょね。

戸上 ないですね。

市長 ハハハハ、それはまたどうしてでしょうか。

戸上 1回も記憶になくて。

市長 お父さんもすごく強い選手ですよ。

戸上 はい、ずっと話には聞いていたのですが、まだ直接打ったことがなくて。

市長 不思議な感じがしますが、親子でインターハイ優勝は素晴らしいことだと思います。

野田学園高校に進まれる前に、卓球の強豪校である野田学園中学校に転校されましたね。私

## 父は高校ダブルス王者 兄2人の背中追い掛け

## SHUNSUKE TOGAMI

平成30年度インターハイ 卓球・男子シングルス優勝

### 戸上 隼輔さん

平成13年8月24日、津市生まれ。修成小学校、橋南中学校から野田学園中学校(山口県)に転校、現在、野田学園高校2年。TOKYO OPEN 2018 第70回東京卓球選手権大会男子シングルス優勝。右シェーク攻撃型、松生卓球道場出身。

